

会 議 録

会議の名称	第5回 長瀬町学校のあり方検討委員会
開催日時	令和3年5月24日(月) 午後1時30分～午後3時24分
開催場所	長瀬町役場 3階大会議室
出席者	委員14名、事務局4名
欠席者	委員1名
会議の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委員長あいさつ</li> <li>3 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保護者アンケート調査の概要と集計結果について</li> <li>(2) 町民アンケート調査(案)について</li> <li>(3) 今年度のスケジュールについて</li> <li>(4) その他</li> </ol> </li> <li>4 事務連絡</li> <li>5 閉会</li> </ol>
会議の公開又は非公開	公開
非公開理由	—
傍聴人の数	0名
発言の内容	別紙「審議内容」のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回長瀬町学校のあり方検討委員会次第</li> <li>・保護者アンケートまとめ、集計結果</li> <li>・町民アンケート調査の概要(案)</li> <li>・長瀬町学校のあり方検討委員会検討内容と今後の予定</li> </ul>
事務局	教育総務担当
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1 開会 (事務局)

2 委員長あいさつ

3 議事

(1) 保護者アンケート調査の概要と集計結果について (事務局から説明)

委員長) 事務局から説明がありました。委員のみなさんには前もって資料が配付されていると思いますので、目を通していただけていると思います。学校の再編について、今説明がありましたけども保護者の意見では統合を望む声が多かったような気がしています。皆さんの意見や気づいたことをお聞かせいただければ、ありがたいと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

委員) アンケート結果を拝見させていただいて、町内にある施設をトータルでみる考え方をする方が結構いると感じて、老朽化が全体的に進んでいることと、これから修繕して行くにも相互利用していけるようにすることで修繕費を抑えることができると感じました。今後、統合などを考えていく中でも、今の状況から変化することが違和感というか、子どもたちも変化に対応するのに時間がかかりますので、今からでもできるところで一小と二小の交流の場をもう少し持っていただけたいなと感じました。PTA 役員の負担軽減に関しましては、昨年度はコロナの影響を大きく受けた PTA 活動となっていて、その中で学校側がどうやったら開催できるのかということが一番考えていただけた 1 年間だったと思います。その中で、削減できるところは削減していただいて活動していましたので、こちらの負担も減らしていただきました。今後もコロナの影響に関係なく削減できるところはしていただけるようにお互いのアイデアで変更できるのではないかなと思っております。会長をしてみても年間の行事予定を見させていただいて、全部に参加できたわけではないが、週 3 日会議があり休む機会がとても多かったので、資料をもらって参加している会議は良いが、考えもなしに参加する会議であれば何か資料をいただきながら参加出来る方が良いかなと思いました。

委員長) ありがとうございます。他にございますか。個人的にこんな風に感

じたとか、アンケート結果からこんな風に取り取れたとか、そんな風な感じでも大丈夫なので意見をお願いできればと思います。どうですか。

委員) アンケート調査を見させていただきました。内容については、切磋琢磨できる集団活動をやるのが、かなり重要な内容なのかなと第一印象で感じました。PTA 活動についてはかなり負担があるという回答結果を聞きまして、会議とか出る機会が多くて、なかなかやっていただける方が少なくなっているのかなと実感しているところです。その中でも、昨年度などは、コロナの関係があって出来る範囲のことをやっていったというのがあり、その辺は子どものことを第一に考えてやっていくのが大事かなと思ひまして、昨年度、その前とやってきたのですが、今後やっていただけるように工夫して、何か良いアイデアがあれば採用して活用していければ良いかなと思ひました。統合については、小中学校で色々な意見があると思うのですが、小学校の統合をまずはやってという流れなのかなと思ひます。アンケート結果なのではっきり言えないところもあるのですが、参考にして町の状況もあると思うので考えて行くというのが良いのかなと思ひます。

委員長) ありがとうございます。色々な意見とか感想があると思ひますが、私もこういうのを感じたとかあれば意見を願ひしたいと思ひます。

委員) 前回にも出てきたと思うのですが、小学校を二校統合に対して特に二小さんの方が小・中と統合というかたちでという意見が多かったのですが、小学校二校の統合に対して、二小の方が一小の方に吸収されてしまうというのに抵抗感があるのかなと思ひます。中学と統合すれば役場の近くという、駅に近いというような意見があったと思うのですが、小学校二校統合の場合でも一小のほうに統合するのではなくて、駅の近くに用地買収なり、あるいは保健センターを一小でも二小でもあいたところに移動していただいて、現在の保健センターの所に小学校二校の校舎をもってくるのはどうかと思ひました。

委員長) ありがとうございます。アンケートの中にもそんな意見があったような気がします。他にはございますか。今回のアンケートにおいても、長瀬町に住んでいる方がアンケートに対して回答等をしてくれるので、結構意見がでてくる。今回の場合、結果を見ても、すごく多くの人に回答していただいているということは、関心があるのではと感じる。この回答率によって、関係する保護者の方が多く回答してくれたということは、この件に

ついて関心を持って、また持っていなかった人も、友達同士や親同士の関係で色々な話をしているなかで、こういう話も出ていて気持ち的な面では通じているような感じがしています。学校に通わせている親にとっては、真剣な問題、大事なことになっているような感じがします。どうでしょうか、他に。

委員) 私の期待したアンケート結果だとすると、一小と二小で差が出てくるのかなという感覚で結果を見たのですが、内容を見ると意外と二小の方も学校に対する抵抗感というのがなかったように感じます。二小の人に関して統合に対して、ある程度前向きな人が半数いるのかなと感じました。アンケート前のイメージと若干異なりました。前提として、アンケート結果から見ると統合の方向に進んでいいのかなという感覚はしました。この中で一番後ろのほうで二小の小学生が言った言葉が気になるのです。二小の保護者で、子どもに聞きました、というところがあって、その子どもが言ったことが、今の少人数で良いと子どもが言っていますということでした。子どもの方から意見がでてきたということは、この中にアンケートにない小学生、子どもたちの言い分というのが多少あるのかなと感じました。今後の話としては、町民と保護者からのアンケートをとりますけど、学校の職員の方が、子どもの考え方や思いが、どのようなかたちで思われているのか、検討としていきたいところかなと思いました。もう一つは、未就学の集計結果があるのですが、未就学の3分の1の集計に対して地域別の意見が集計されていないかなと感じたので、もしわかれば未就学児の親たちが、今後どういうふうを考えているのか、今後のアンケートの中に入れていただければ、一小、二小の考え方の差がでてくるのではという風を感じたので、もし良ければ集計していただきたいと感じました。

委員長) ありがとうございます。これについては、いかがですか。

事務局) まだ集計ができていないので、希望があればそのように出していきたいと思います。

委員) せっかく出していただいたので、やっぱり、地域的な差というのが未就学児に関しては3分の1以上の81人の集計ができていますのでどういう考え方がでてくるのか、その差がでてくればと思ったのですが。

事務局) 未就学児の地区別でよろしいでしょうか。

委員) 地区でいいと思います。

委員) 二小地区の未就学児は、数的には非常に少ないので、兄弟でみれるので、

単体では非常に少ないです。

委員) 81 人中の何人くらいがそうなのですか

委員) 自分の園のことしかわからないのですけれども、10 件もないくらいだと思います。兄弟だから上でいる人は小学校でだしてしまっているの。

事務局) 保育園や認定こども園では、野上下郷で7、岩田で7、矢那瀬3、全部で17の回答になります。

委員) せっかく集めてあるのであれば教えていただきたいと思います。

事務局) 次回の時に出ささせていただければと思います。

委員長) 良い意見をありがとうございました。他にもありましたらお願いしたいと思います。

委員) 色々、賛否両論あるのですが、一小と二小一緒にするというような意見が多いと感じました。学校に対するこれからどうするかに関係のない単純に苦情というのが入ってしまっているのかなと感じて、区別する、分けるという必要があるのかなと感じました。アンケートに関係なく、辻区なのですが、小学生が5人いないと思う、子どもの状況がよく分からないのですが、子どもが歩いているのを最近見ていないので。近所の人と話をしたときに、ここから通わせるのはちょっと大変という話はあって、近所にも5年くらい前に子どもさんがいたのですが、いなくなってしまうと、話しを聞いたら第一小学校の近くに引っ越したということを知りました。その人ではないけど、早く統合すればいいのにね、子どもがかわいそうだから、という単純につぶやいていたということもありまして、私はどっちにしたらいいいのかなと判断しかねるのですが、色々な人の意見を聞いて、最初この回に参加したときには、単純に一小と二小を一緒にした方が合理的かなと感じがしたのですが、今は少し戻って、迷っているような状況です。

委員長) ありがとうございました。この件に関して、区長さんが地域の人の話などを耳にすることなどなかったですか。

委員) 今のような話くらいですね。聞かなければ話しをしないので。

子どもさんが少ないからそういった話しが出ない。

委員長) ありがとうございました。

委員) 年寄りの人と何人か話しをしたのですけれども、滝の上は駅が近いから通ってもいいのではないかとこの話しがでていたのですけれども。矢那瀬はスクールバスがあるから通えるのではないかと。人数が少ないから統合しちゃってもいいのかなとか。二小がなくなると子どもの声が聞こえ

なくなってしまうから寂しいとか。この間から考えていたのですが、これから先は、統合しながらやっていかないとダメかなと、感じています。

委員) 近所の人に少し聞いていたりしたのですが、自分の出た第二小学校がなくなるというのは寂しいのでという話があって、子どもたちがいないというのは、どうあがいても無理なので、長瀬町に住んでいて小学校・中学校に対して不便がないように行ければ、長瀬町にとどまっていただけではないかという雰囲気はあります。皆野町のほうが、教育にいいかなと書いてある部分があったりして、長瀬にいれば小中学校に行くのに対してスクールバスを利用しながら送迎をしていただければ、長瀬どこに住んでいても学校に通うのに問題がなければ良いところなので住みたいかなという人が増えてくれればいいかなと思います。統合が決まって、第一小学校に統合するにしても、中学校の裏にできるにしても交通のアクセスがどうあがいても、電車を使うにしても小学校で野上駅まで行って歩く、そんなことであれば、もっと利便性の良いバスで全部という名目があれば、長瀬に行くとき全部スクールバスで通えるというイメージがついてくると、親御さん達は安心感があると思います。第一小学校に統合になるから、第二小学校の子だけスクールバスでというのではなく、全体的にスクールバスで、井戸とか遠いところもあるので、長瀬町に行くとき小学校はスクールバスでみんな安心して通えるよというイメージがつくと長瀬に住んでもいいかなって思ってくれる人が増えていけばいいかなと思っています。

委員) 保護者側からも、現況の継続を望まないというのが、はっきりわかってきたと思います。将来を見据えた教育環境を整えて進展を望むのであれば、児童・生徒が増加というのは望めないと思います。より子どもたちの為に長いスパンでみた場合に小中一貫校を考え、よりよい子どもたちの教育環境を指導していただければと考えています。

委員) 今後の児童数の推移を鑑みますと、長い目でみれば小中一貫校をとという意見もたくさんあったのではと思います。想像ですが、小学校の統合という形を考えると一小さんが残るのではないかという推移で統合という風に考えていらっしゃるのかな、というような考えが伺えるようなところがありました。はっきり統合というだけでアンケートをとったので仕方ないことかなと思うのですが、なかには二小さんが駅に近いので、そっちを残したほうがいいのではないかという意見もあったと思います。よその統廃合を鑑みると、広い方へ広い方へと学校を残す傾向というのがあると思

ます。規模的なことを考えても、一小さんは将来的な児童の推移を考えると残ったとしても、広すぎてしまって職員をもてあましてしまうような気がする。規模的には、二小さんのほうが残すのであれば良いような規模かなと思います。短いスパンで考えた時かなと思います、5年とか7年とかそんな感じ。それ以降は、どうせ統合しても1クラスですよ。だから、統合したら2クラスになるではないかと、一小さんのほうの意見でありましたけど、そういう意見は目先のことだけで、長いスパンで考えて、町としては考えていったほうが、いいのではないかと思う。この意見の中にもありましたが、意味のない保健センターがと書いてありましたが、そういうところの活用を考えれば、中学校さんあたりのあの辺にまとめられるのではないかと、長いスパンで見て考えていったほうが良いと思います。せっかく、莫大なお金をかけるわけですからという意見があるし、長いスパンでは良いのかなと。貴重な意見だと思うのですが、町以外の意見を聞いた方がいいのではないかという意見もありましたよね。近くの地区で小中一貫校を考えて、2024年にやるというところも聞いています。ある程度近いところでは、小中一貫校を考えて進めているという話も聞いています。小中一貫校というと校長先生、教頭先生1人ずつではないかと考えられるかもしれないが、小中一貫校には小学校・中学校で各1名ずついるそうなので、素人目ではわからない部分もはっきり打ち出して、これから考えて行くのが良いと思います。義務教育学校は、一人ずつになります。せっかくお金を使うので長い目で進めて行って、良い教育環境を作って行ければと思っています。細かいことでは、コミュニケーションとか子供同士だけで作れるものではないと思うので、地域全体との関わりでコミュニケーションとかも出来上がっていくことですし、いろんなことが大事になってくるかなと思います。

委員長) 5年、10年先になると子どもがいなくなってしまう。まず、小学校の統合に向けて進めていければ。

委員) 準備段階として運動会を一緒にやるとか、いろんな行事を両方で一緒にやっていくとか、やり方は考えればいかなと思う。

委員) 皆さんの意見を聞いてなるほどと思いうなずいていたのですが、確かに9割近くがなんらかの行動を起こさなければいけないと思っているという結果がでていますので、これを先送りにするのはあまり良くないかなと思います。この先、長瀬町は子どもが少なくなって、年寄りが増えていく

ということですので、学校だけの問題ではない気がします。福祉的な施設とかそういうところも先のことを考えるのであれば一緒にしていくほうが良いのかなということも考えました。先のことというと自分の今の立場がどうなのかと年代によってだいぶ異なるので、その年代によって考え方が変わってくると思うんですけど、色んな意見を聞いた上でどこかで判断しなくてはと思います。判断するというか意見をだすのはこの会議なので、この会議の意見はすごく重要になるかなと思いますので、たくさんの意見がでるといいなと思っています。

委員) ご意見を拝聴して色んな動きがあるのだなと感じています。どの学校も地域の皆さまにとって、ほんとに大切な思い出のある学校だと思いますのでどのような形になるにしても、みなさんのご意見をできるだけ活かすかたちで話しがまとまっていくといいなと思っていますところでは。

委員長) ありがとうございます。

委員) アンケートの集計で一小を担当して、一小は1クラスで教室が狭いのに二小は教室が広く不公平という意見が多かった気がする。現在、保育園に通園している保護者の方は、子どもが学校に入学したときに友達ができるのかという、一小と二小に関わらず全部で20人のなかでどうやっていくのかというところから色々な意見を述べている。

二小の学校区から一小に引っ越したという事例もあるが、長瀬町から皆野町に引っ越しをしてしまう可能性もないとは限らず、止めなければならない。そのためには、小中一貫校で送迎があつて心ときめくような、この町にいて任せておけば大丈夫と思えるものを見せて事を進めていかなければ、危機感につられて焦りばかりが募ってしまうと思う。

委員長) 貴重な意見ありがとうございました。

## (2) 町民アンケート調査の案について (事務局より説明)

町民アンケート (案) を配付

委員長) 町民アンケートについてお話がありましたが、これにつきまして、意見や質問等ありましたらお願いします。

委員) 問4のクラス替えや席替えによる人間関係が固定しないこととあるのですが、目先のことは省いたほうがよいのではと思う。小学校が統合になると一つになるが、どこにあると望ましいかという項目を入れたら良いと思



う。

事務局) 保護者アンケートを基本に作成していますが、望ましい場所まで聞くとなると、保護者には聞いてない部分もあるので、どのように考えるか。

委員) その質問をすると、現在の保護者ではなく、それ以外の町民の方の意思というので決まってしまうような気がする。今後の議論に影響があると思うので、保護者に聞いていないことは避けて、次の段階のアンケートなどで場所の質問項目を入れても良いのではと思う。委員会としては、整合性を持ちたいから、保護者アンケートと対応するものがよいということでしょうか。

委員) 次の機会に場所というのも何かの方法で、皆さんに伺えるような方法で聞いていただければと思います。それから、問6のPTA活動などの保護者の負担。PTA活動についてはよくわからないと思うので、いらないのではないか。

委員) 私は、あっても良いような気がする。中学校の後援会費の件で総会を開いた時に色々な意見がでまして、PTAの負担が話題にのぼっていた。小学校・中学校のPTA活動にも教育委員会の考え方として、結構重みのある関心事のような気がした。項目に入れることで、一般の方がPTA活動の中で負担を感じているのかどうか他の人にも聞いた方が良い気がする。

委員) PTA活動というのは、必ずしもなくてはならない組織ではないと思う。どうしてもなくてはならない学校にとって、PTAの方が資質向上のために作った組織だと思うので、学校に合った組織・地域に合った組織で良いと思う。

委員) 自分の子どものためですし、PTAがなくなるとは困ることがたくさんあるので、なんとか折り合いをつけてほしいと思う。

委員) 総会をした時にこの会議の活動報告をさせていただきまして、アンケート、資料が見てわかりづらいと何人かの方に言われたのでもう少し見やすくできたらと思う。答えていただく方に、込み入ってわかりづらいので見やすくしてほしいと言われた。

事務局) 今度は年代も幅広くなってきますので、ページを増やして見やすくしたり、字体を変えるなどいくつか修正をさせていただいて、アンケートを実施したいと思います。調査期間なのですが、6月準備ができ次第発送をしたいと思うのですが、6月末を一つの区切りとして回答期限として発送をしたいと考えております。回収したものの集計は、7月・8月を予定

しております。  
委員長) ありがとうございます。

(3) 今年度のスケジュールについて (事務局より説明)

委員長の方から話がありましたが、次回の会議の際に委員さんに各学校3校ありますけれども、現在の授業風景や学校の様子をみてもらった上で、実際に見てもらおうと一小と二小の格差や中学校の様子もわかると思いますので、視察してもらったのちに会議を設けて感じとったことや思ったことを意見交換していただけたらと思っています。今後の予定として紙をお配りしておりますけれども、今日は第5回の会議を5月末に行いまして、基本的には2か月に1回奇数月を考えていて、令和4年3月の第10回まで予定しております。目標としては、今年度中、3月には答申を教育委員会に出したいと思っていますので、このようなスケジュールを組ませていただきました。第6回が7月、第7回の会議を9月、先程皆さんで議論していただきました町民アンケートの調査の結果を7月、8月でまとめて、9月の会議のときにその内容について集計結果が報告でき、あわせて答申内部の骨子についても少しずつ話し合いを進めていければと考えております。11月にも答申の案を検討、年明けまして1月に答申をまとめて最終案の形が見えてくればと考えていまして、3月には答申できるように考えております。先程、委員長から学校の現場視察の話ができましたけれども、その辺を含めて委員さんで意見をいただければと思います。よろしくお願ひします。学校の視察ということになりますと、学校と調整しまして、各3校が都合のいい日が6月30日の水曜日に午前・午後がどちらも大丈夫だと聞いています。あとは、7月9日の金曜日。この2日間であれば午前・午後どちらでも大丈夫ということで聞いていまして、どちらかでできればと思っています。学校の見学を午後からはじめて3校をまわると、学年によっては下校になってしまう学年もあるので、可能であれば午前中に学校を見て、会議ができればと考えております。

5 閉会 (事務局)

長時間にわたりましてありがとうございます。次回のあり方検討委員会は7月9日の金曜日、9時くらいから学校に伺って校内を各校30分くらいずつ見させていただければと思います。よろしくお願ひいたします。

貴重な意見をたくさんいただきましてありがとうございました。